

仕事とは何かを考える —一生勉強、一生青春—

経済同友会
林 明夫

あとでお読みになりやすいように、Q and Aの形で本日の出張授業資料を作りました。御活用下さい。

Q1：この授業の目的・ねらいは何ですか。

A：私の仕事や社会的活動の経験を通して仕事とは何か、働く意味・目的、これからの社会で求められる能力とは何かを考えると同時に、高校生として今やらなければならないことは何かを考えるきっかけをつくってもらいたいとのねらいでお話いたします。

Q2：好きなことばはありますか。あれば少し紹介して下さい。

A：たくさんあります。例えば、学生時代に教えていただいた好きなことばは次の5つです。

(1)「ブルドッグ魂」(食いついたら離すな)	中学のクラス担任 岡田忠治先生
(2)「練習で泣いて、試合で笑え」	中学の柔道部長 椎名弘先生
(3)「一所懸命」(一つの所で命を懸けるくらい熱心にものごとに取り組もう)	足利高校のマラソン大会
(4)「注意一秒、ケガ一生」	慶應義塾大学の犯罪学の宮沢浩一先生
(5)「いつも最悪のことを考えて行動する」	慶應義塾大学の法哲学の峯村光郎先生

Q3：林さんの仕事や社会的活動は何ですか。

A：いくつかあります。

- (1)株式会社 開倫塾、代表取締役社長……「サービス産業(教育・学習支援業)」
 - ・北関東(栃木県、群馬県、茨城県)に65校舎ある小学生・中学生・高校生対象の学習塾。塾生数はピーク時で7000名位です。
- (2)マニー株式会社、顧問、元社外取締役……「製造業」
 - ・宇都宮市清原工業団地に本社、ハノイ、ヤンゴン、ビエンチャンに現地法人をもち、精密医療機器、手術用縫合針などを製造しています。
- (3)社会福祉法人 両崖福祉会、特別養護老人ホーム清明苑、理事……「医療・福祉」
 - ・足利市にある介護施設。特別養護老人ホーム清明苑のほか、健康ディサービスセンター けやき、高齢者複合施設 みのりの里・田島などを併設。通所(ディサービス)、訪問介護・訪問入浴介護、居宅介護支援、小規模多機能居宅介護などを行っています。

(4)その他、宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授や、福島市にある学校法人 有朋学園 有朋高等学院 理事長、開倫ユネスコ協会 会長などもしています。

(5)また、CRT ラジオ栃木放送で「開倫塾の時間」を毎週土曜日 9:15 ～ 9:25 まで 26 年間担当しています。社会人を含め「効果の上がる学習の仕方」をお話しています。割と忙しく生活しているほうかもしれません。

Q 4 : 仕事とは何だとお考えですか。

A : (1)仕事とは「お客様(顧客)」の「問題解決」に役立つこと。

- ・「お客様(顧客)」とは製品やサービスを提供する相手側のこと。
- ・そこで、自分の会社や事業体の「お客様(顧客)」とは誰かを知ることが大きな課題となります。

(2)「お客様(顧客)」の「問題解決」に役立つことで、社会のお役に立つことだと私は考えます。

(3)すべての企業・事業体には設立の目的、社会的使命(ミッション)があります。「お客様(顧客)」の「問題解決」のお役に立つことで、その設立の目的、社会的使命(ミッション)を達成することが企業、事業、仕事の意味であると私は考えます。

(4)ただし、社会は急激に変化し続けるので、「お客様(顧客)」の「問題」も急激に変化し続けます。

(5)また、会社や事業体を取りまく経営環境も急激に変化し続けます。

①超円高

②デフレ

③超少子高齢化

④大地震・大津波の発生、原発・エネルギー問題

⑤新興諸国の台頭

⑥競争相手の出現

⑦合併や提携

(6)「自己責任」「自助努力」「あきらめたらおしまい」、企業や事業体の目的・ミッションの達成のために執念をもって努力することが求められます。

Q 5 : 何のために働くのですか。

A : (1) お客様のお役に立つことで社会のお役に立つため

(2) 生活できるだけの収入を得るため

(3) 充実した人生を送るため(自己実現)

Q 6 : これからの社会で求められる鍵になるような大切な能力とは何だとお考えですか。

A : (1) 「知識基盤社会」……知識・情報・技術を相互作用的に用いる能力

(2) 「グローバル化社会」……多様な集団で交流する能力

(3) 「課題山積社会」……自律的に活動する能力

Q 7 : 高校時代にしたいほうがよいことは何だとお考えですか。

A : (1) 読書により思慮深(しりよぶか)さを身に付けること。

・「書き抜き読書ノート」をお勧めします。

(2) 新聞を読み自分で考える力、批判的思考能力(ひはんできしこうのうりょく)を身に付けること。

・「スクラップブック」をお勧めします。

(3) 自分なりの「学習の仕方」を身に付けること。

・「学」…「うんなるほど」とよくわかること…「理解」

・「習」…よくわかった、「理解」したことを身に付けること…「定着」

※「学」と「習」を分けて考えることも一つの「学習の仕方」

(4) 学校での全教科の学習、教科外の活動を1つ1つ大切に行うこと。

・学校で学習する全教科や学校時代のすべての活動は、大学や社会で役に立ちます。一生役に立ちます。ですから、学校の教科書、資料集、授業中のノートは絶対に処分しない、棄てないで1か所に保存すること。大学に行っても社会に出ても折に触れて読み直すこと。特に高校の教科書・資料集・ノートは、就職試験やものを考えるとき、悩んだときにとっても役に立ちます。

(5) 何のために大学・短期大学・専門学校に進学するのか、進学して何をするのか、社会に出て何がしたいのか、どのような仕事に就きたいのかを自分の力で考えること。

・進学希望校を何回も訪問し、進学したら何をするか考えること。

・世の中の大きな動きを知り、どのような仕事に求められているのかを自分の力で考えること。

・その仕事に就くにはどうしたらよいかを調べ、今何をしたらよいかを考えること。

・その仕事に就いている人から話を聞くこと、仕事の現場を訪問すること。

- (6) 躰(しつけ)を身に付けること。
- ・美しい立ち居振舞(たちいふるま)い。
 - ・敬語表現を含む言葉遣(ことばづか)い。
- (7) 「5S(ごえす)」も大事
- ・整理(不要なものを捨てること)
 - ・清掃(せいそう)
 - ・整頓(決まったところにものを置くこと)
 - ・清潔
 - ・躰(自分の意思で行うこと)

Q 8 : 最後に一言どうぞ。

A : (1) 学校時代の同級生は一生の友達、先生は一生の恩師。少しずつでも友情を育もう。

(2) 自分のよいところを探し、大切に育てよう。家族、友達、学校、川口市、埼玉県、日本、アジアのよさを探そう。よいところはどんどん伸ばそう。

(3) 私の好きなことば(追加)―社会に出てから教えていただいたことば―

- | | |
|---------------------------------|-------------|
| ①「会った人は皆友達」, 「よいことをして忘れること」 | 京都一燈園 石川洋先生 |
| ②「初心忘るべからず」 | 世阿弥 |
| ③「持続する志」 | 大江健三郎先生 |
| ④「目には遠いが心は近い」 | インドのことわざ |
| ⑤「本当の月を見たことがあるか、本当の自分を見たことがあるか」 | 京都一燈園 石川洋先生 |
| ⑥「離見の見(りけんのけん)」 | |
| …舞台で舞う自分の姿をもう一人の自分が観客席から見る | 世阿弥 |
| ⑦「教育ある人とは一生勉強し続ける人」 | ドラッカー先生 |
| ⑧「健康第一、身体・心の健康を大切に」 | |
| ⑨「一生勉強、一生青春」 | 相田みつを先生 |
| ⑩「あいさつ第一」 | |
| ⑪「関係は本質に先立つか」 | 上智大学 渡辺文雄先生 |
| ⑫「自然と精神」 | ベイトソン先生 |
- ・皆様の好きなことばを教えてください。

*御清聴を感謝申し上げます。

御質問、御意見あれば御自由に御発言下さい。

以上

[メモ]